

令和2年度最初の避難訓練です。

今日は、学校が火事になったことを想定しています。

けれども、自然災害に巻き込まれた以外で、学校での火事はこれまでありません。

では、何のための避難訓練でしょうか。

これは、火事を含め全ての災害に備えて、避難の仕方や必要な知識、方法、考え方を身につけるための学習です。

火事以外にどのような時に避難訓練で身につけたことが必要になるでしょうか。

不審者、大雨洪水、飛翔体（ミサイル等）が考えられます。

どの場合も次のことが求められます。

まず、「迅速な行動」。早く非難をする。そして、避難する前の人数と避難した後の人数が同じであることを早く正確に確認すること。

次に、「無言」。先生たちは、皆さん全員の命を絶対に守ります。そのための指示を出します。しっかり聞く、そして行動する。一緒に助かりましょう。誰一人として命を落としてしまうことがないようにしましょう。

そのためには、騒いでいたら聞こえません。また、間違った情報や発言が出ることで、集団が混乱してパニックになることもあります。先生たちも判断と指示を間違えないように訓練していきます。

東日本大震災では、日頃からの訓練がしっかり身についていたことで助かった学校がありました。また、判断を間違えてしまったために多くの命が犠牲になった学校もありました。先生たちの指示は全員の命を守るものになっていたでしょうか。

そして、皆さんの避難は、自分を含め全員の命を守る行動になっていたでしょうか。

今日はいい意味で訓練です。できなかったところを振り返り、改善しましょう。

より良い訓練とは、行動したことがしっかりと皆さんのこれからの行動や考え方となっていくことです。

備えあれば憂いなしという言葉があります。

緊急時に対する備えを身につけましょう。